

事務事業名	田井小水力発電所維持管理事業	所属部	政策企画部	所属課	地域振興課	
総 計 画 体 系	政策名	(Ⅱ)環境に配慮した安全・快適な生活環境づくり<<定住環境>>	所属G	地域振興グループ	課長名	加津山幸登
	施策名	(05)自然環境・景観の保全	担当者名	村松 優	電話番号	0854-40-1014 (内線) 3519
	目的 対 象	A)自然環境・景観 B)市民 意 図 A)自然環境・景観を守り創造する。B)意識を高め自然環境保護活動を実践する。	予算科目	会計 款 大事業 大事業名 0 1 1 0 0 1 発電所管理事業 項 目 中事業 中事業名 0 5 8 5 0 1 発電所管理事業		
	基本事業名	(013)自然環境の保全				
目的 対 象	市民 意 図 自然環境を守る活動に取り組む。					

1 現状把握【DO】

(1)事業概要

① 事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (16年度～)
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～年度)	
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)	田井小水力発電所の施設維持管理を行う事業。 水力発電はCO2をほとんど出さないクリーンエネルギーであり地球環境にやさしい発電施設である。 中国電力との電力供給契約による発生電力の売電。 故障の発生を未然に防止し、低コストで事業を継続するための日常の維持管理業務と計画的な修繕の実施。

(2)事務事業の手段・指標

手 段	① 主な活動	25年度実績(25年度に行った主な活動) 非常勤職員等による日常の管理・保守 売電に関する事務処理 施設修繕	26年度計画(26年度に計画する主な活動) 非常勤職員等による日常の管理・保守 売電に関する事務処理 施設修繕			
	② 活動指標	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)
ア	年間発電量	kw	913,722	723,746	776,636	776,000
イ	発電量報告書受理数	回	12	12	12	12
ウ						
エ						

(3)事務事業の目的・指標

目 的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	田井小水力発電所で発電される電気	③ 対象指標	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)	
			ア	発電所数	箇所	1	1	1	1
			イ						
			ウ						
	② 意図(対象がどのような状態になるのか)	環境にやさしい電気エネルギーの安定供給 低コストで安定した発電所の経営 (発電量の維持と維持管理費の抑制)	④ 成果指標	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)	
			ア	年間CO2削減量(対石油火力発電1kw当り183gで算出)	t	167.2	132.4	142.1	142.0
			イ	年間売電収入	千円	10,634	8,488	9,229	10,072
			ウ	年間維持管理費	千円	6,670	6,347	5,904	7,500

(4)事務事業のコスト

① 事業費の内訳(25年度決算)	② コストの推移	単位	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(計画)
日常の維持管理のための非常勤職員の報酬及び修繕費用、電気保安管理委託など。報酬1,938千円、消耗品312千円、修繕費21千円、火災保険料260千円、電気保安管理委託料216千円、工事請負費1,201千円、その他(堰堤土砂ばき作業賃金など)399千円	財源内訳	国庫支出金	千円			
		県支出金	千円			
		地方債	千円			
		その他	千円	4,640	4,615	4,347
	一般財源	千円				
	事業費計(A)	千円	4,640	4,615	4,347	5,768
人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	
	延べ業務時間	時間	515	442	400	
	人件費計(B)	千円	2,030	1,732	1,557	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	6,670	6,347	5,904	

(5)事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
建設から50年を経過し、設備、施設の老朽化が進んでいる。主要設備の更新が必要になってきているが、多額の費用がかかることが予想され、厳しい状況である。一方、環境負荷の少ないクリーンなエネルギーとして見直され、注目を集めている。	非常勤の嘱託職員を1名配置し、日常の細やかな保守点検と定期的なメンテナンスにより、管理経費の縮減に努めている。	貴重な地域資源であり、クリーンエネルギーの観点からも新エネルギー固定価格買取制度(FIT)の適用を求められている。(企業会計の設置、電力事業債の借入、選任技師等の配置などの課題も指摘されている。)

事務事業名	田井小水力発電所維持管理事業	所属部	政策企画部	所属課	地域振興課
-------	----------------	-----	-------	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒	
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？		
B 有効性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である * 余地がある場合⇒	
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒	
C 効率性	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方はあるか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？		理由 日常的な保守管理と定期的なメンテナンスにより、現状の設備における故障の発生は最小限に抑えられていると考える。
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない	
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		
D 公平性	<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	理由 事業を廃止した場合、河川法に基づく原状回復の義務等により河川工作物の撤去等を行う必要が生じ、多額の費用がかかることが想定される。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない	
<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない			
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由 大規模な故障発生を抑止のために計画的な点検・修繕を行うことが事業費の削減につながることから、現状経費は必要最小限であり削減の余地はない。
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		
D 公平性	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 非常勤嘱託職員による日常の管理業務、電気主任技術者の外部委託などを既に行っている。
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由) 再生可能エネルギーを推進する立場から施設の維持は必要である。
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
		B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
		C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
		D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		② 改革・改善による期待成果																			
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)		<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持	●	×	低下	×	×
	コスト																				
	削減	維持	増加																		
成果	向上																				
	維持	●	×																		
	低下	×	×																		
<p>新エネルギー固定価格買取制度(FIT)の適用を目指して、現在資源エネルギー庁との協議を行っている。(協議では取水から排水までの全部の更新を求められているが、技術的な提案を行いながらできる限り更新箇所が少なくなるように進めている。)</p> <p>協議完了後は概算設計を行い、収益モデルの再精査を行い、検討会議等を経て投資を決定する予定としている。</p> <p>今後は、企業会計設置と会計管理の人員配置、建設電気土木に精通した選任技師の配置、電力事業債の借入が必要。</p> <p>事業規模としては数億円のプロジェクとなる予定。</p>		<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																			